

木型や紙器・什器の一貫生産。 企画×技術で付加価値を提案

ベニヤ板に鋼製の刃を打ち込んで作る紙器用の木型の製造からスタートし、現在はパッケージ及び紙製什器の企画から量産までを一貫して手がける中野木型製作所。近年は、外部クリエイターとの協業にも力を入れており、印刷会社や紙器メーカーからの依頼に加え、デザイン会社を通じたユニークな紙製品の制作案件も増えている。

長年培った技術と社内設備を活かし、木や紙以外の素材でのものづくりにも挑戦。その躍進は留まるところを知らない。

住所 | 〒570-0032 大阪府守口市菊水通3-11-9
TEL | 06-6991-0776 FAX | 06-6991-0882
創業 | 昭和48年3月 設立 | 昭和50年4月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 7名
HP | <https://e-nakanokigata.cc/>

■主な事業内容

紙器用抜型製作、抜き加工、パッケージ・什器等の企画・設計・制作

■主な取引先（納品先）

印刷会社、段ボールメーカー、トムソン加工会社、デザイン会社、紙加工製品販売会社、日用品メーカー、洋菓子店など



極み

ユーザー目線の 設計と技術で、最適な デザインと機能性を実現

同社の強みは、エンドユーザー目線での企画提案だ。用途を徹底的に考え抜いたデザインや設計により、品質とコストの両面に最適なパッケージや什器を制作。50年以上培った技術と少数精鋭による機動力で、複雑な形状の木型製作や小ロット生産にも対応する。

取り
組み

日本唯一の自社講座を開催。 新商品開発や 後進育成の場に

平成28年から、日本で唯一パッケージのデザイン・設計を学べる講座「大阪パッケージアカデミー」を開催。コロナ禍でオンラインに切り替わり、受講者は延べ150人を越えた。講師と受講者が共同で新商品を開発するなど、ビジネスの場としても広がりを見せる。

今後の
展開

型抜の技術で異業種コラボ。 環境配慮型の商品開発に 挑戦

布地やゴムなど生産過程で余った廃材をトムソン型で型抜きし、新たな商品に生まれ変わらせるOEM事業を始動。大阪を中心とする多様な日用品製造業者とのコラボで、資源の有効利用を目指す。社内で産業廃棄物として処理する木型の再利用も実現したい考えだ。

株式会社中野木型製作所

WEBサイト



代表取締役社長
鈴木 美奈子さん

「商品の心をカタチにする」を掲げ トータルパッケージの提案を目指す

創業以来木型製作を手がける中で、時代の変化を感じ取りエンドユーザーやクリエイターと積極的に繋がりながら、企画・設計機能を強化してきました。近年は展示会や自社講座をきっかけに、デザイナーとの協業が拡大。直接お客様のご要望を聞きつつ、クリエイティブな発想と技術を掛け合わせた提案ができることにやりがいを感じています。

私たちが大切にしているのは、使う人の目線に立ったモノづくり。「商品の心（ハート）をカタチにする」という理念の下、今後もパッケージデザインを総合的に提供できる会社を目指してまいります。



木型の製作工程



刃物の曲線等を微調整するためのコマ



刃の周りにゴム付けする工程

推しポイント 福利厚生・働く魅力 職場環境

家庭的な職場環境
若手のアイデアで
会社の認知も向上



従業員の年齢層は、若手からベテランまで幅広い。子育て世代の従業員が在籍することもあり、完全週休2日や残業ゼロといった制度面に加え、従業員同士が快くフォローし合える温かい職場づくりを心掛けている。

また、地域デザイナーや学生との交流会、従業員の技術力向上を目的とした一般向けワークショップも開催。最近では若手社員が中心となって関西圏のイベントへの出店を企画するなど、地域社会との交流も盛んだ。こうした活動で会社の認知度が向上し、事業にも奏功。木型製造だけでなく「企画×技術で商品の付加価値を高めたい」という代表の想いは、若い世代にも着実に受け継がれている。